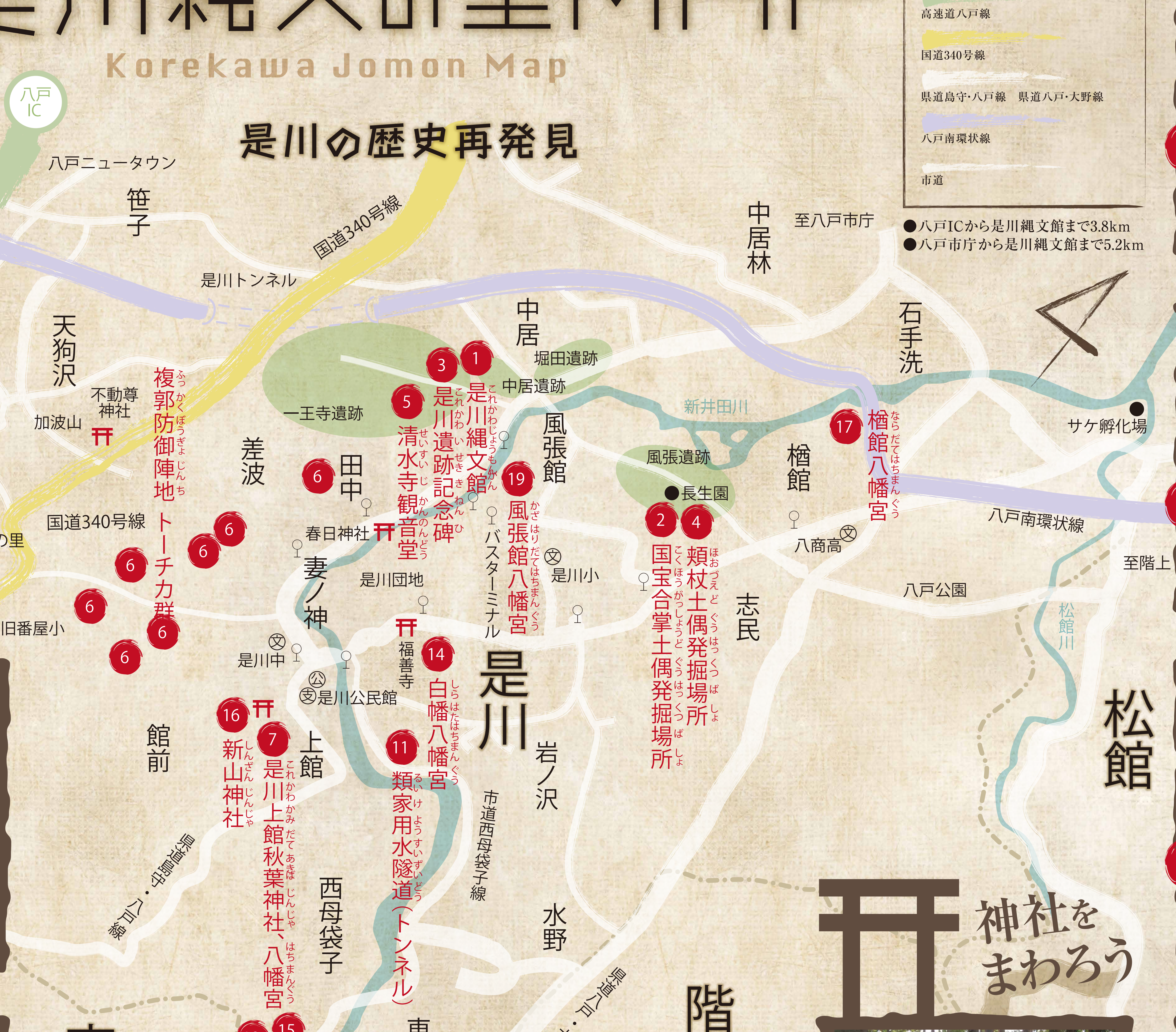
是川縄文の里MAP

Korekawa Jomon Map

是川の歴史再発見

国宝
合掌土偶
®5283717


凡例
高速道八戸線
国道340号線
県道島守・八戸線　県道八戸・大野線
八戸南環状線
市道
八戸IC
南部町へ
八戸ニュータウン
笹子
国道340号線
高速道八戸線
是川トンネル
中居林
至八戸市庁
中居
堀田遺跡
中居遺跡
一王寺遺跡
天狗沢
八幡馬発祥の地
不動尊神社
加波山
天狗山神社
登り街道の松と一里塚
オニグルミ
土橋
ひばりの里
旧番屋小
複郭防御陣地 トーチカ群
差波
田中
春日神社
妻ノ神
是川団地
是川中
是川公民館
福善寺
是川縄文館
是川遺跡記念碑
清水寺観音堂
バスターミナル
風張館
風張館八幡宮
是川小
風張遺跡
長生園
類杖土偶発掘場所
国宝合掌土偶発掘場所
新井田川
楢館
楢館八幡宮
八商高
石手洗
サケ孵化場
八戸南環状線
至階上
八戸公園
松館川
松館
志民
是川
白幡八幡宮
岩ノ沢
類家用水隧道（トンネル）
市道西母袋子線
館前
上館
新山神社
是川上館秋葉神社、八幡宮
県道島守・八戸線
西母袋子
水野
東母袋子
県道八戸・大野線
階上町
南郷区
母袋子橋
地獄沢磨崖仏
砕石場
是川東小
是川発電所（東母袋子）
至青葉湖・市民の森
1：5,000
0　200m

●八戸ICから是川縄文館まで3.8km
●八戸市庁から是川縄文館まで5.2km

神社をまわろう

是川縄文館
竪穴式住居

1 是川縄文館

是川遺跡や風張遺跡の優れた縄文文化を発信する施設です。
国宝「合掌土偶」や重要文化財「是川遺跡出土品」をはじめ、縄文文化の優品を展示しています。
また、分館（縄文学習館）では、是川遺跡の保存に尽力された泉山兄弟や是川遺跡を紹介する展示を行っています。

2 国宝合掌土偶発掘場所

養護老人ホーム長生園の敷地内。
合掌土偶は体育座りの格好をした座像形の土偶です。
胸の前で両手を合わせて指を組む特異なポーズの特徴を端的に表すために「合掌土偶」と名付けられました。

3 是川遺跡記念碑

是川遺跡を一望できる高台にあります。
昭和7年（1932年）に建てられた歴史ある石碑。

国重要文化財
類杖土偶

4 類杖土偶発掘場所

合掌土偶発掘場所より30mばかり離れたところ。
竪穴住居跡から出土しました。両膝を折って座った状態で、手を左頬にあてがっています。顔立ちは粘土紐ではっきりと作られており、耳飾りをしていたかのような表現がみられます。

国重要文化財
清水寺観音堂

5 清水寺観音堂

観音堂は、清水寺境内の南西隅の杉の大木に囲まれた一角に東に向って建てられています。
残されている棟札から天正9年（1581年）に建立されたことが知られていますが、これは県内で最も古い木造建築ということになります。

6 複郭防御陣地 トーチカ

アジア太平洋戦争末期、昭和19年（1944年）10月から翌20年3月までの半年をかけて、日本軍は米軍の八戸海岸への上陸を想定して是川、島守、館地区に陣地を構築しました。
地元ではこれを八戸要塞と呼んでいます。

7 是川上館秋葉神社、八幡宮

館の由来は明らかではありませんが、天正のころには、根城南部氏の家臣である葛巻豊前がいたといわれています。館は単郭で曲輪の四周に堀が巡っていたとされています。館跡には、秋葉神社と八幡宮が祀られています。是川と島守の境にある「合戦場」という地名はその名残りであると思われます。

8 登り街道の松と一里塚

八戸の殿様が参勤交代で大名行列をして八戸～江戸を往来する道が登り街道です。
街道の両脇には松並木や一里塚をつくりました。

保存樹木
樹種　オニグルミ
指定番号　第9号
指定年月日　平成21年2月19日
八戸市

9 オニグルミ

国内のオニグルミで幹周りが4mを超えるものは、平成22年時点でこの木と南部町の「法光寺のオニグルミ」だけです。是川遺跡の泥炭層からは、縄文人が食用にしていたクルミの殻が多数見つかっています。

10 天狗山神社

八幡馬の発祥地と伝えられている天狗沢にある天狗山神社は、前田孫作が永仁元年（1,293年）に建立し、一族の守護神としました。祭神は猿田毘古大神であります。昔は三八地方はもちろん岩手県北からも多くの参拝客でにぎわいました。拝殿には天狗の絵馬や天狗の履く一枚岩の大きな下駄が奉納されています。

写真は頭首工
隧道の取り入れ口
1,763間4分1厘＝3.18km
15,000石＝4,310t
30万円余＝4億2,300万円

11 類家用水隧道（トンネル）

類家地域の耕地整理事業として八戸町、大館村、小中野村が連合組合を設立して大正10年（1921年）6月20日に隧道工事を開始しました。
全国にも稀な難工事でしたが、大正12年10月18日に内幅5尺、高さ6尺の楕円形の隧道（素掘り）が遂に竣工しました。
工期28ヶ月、長さ1,763間4分1厘、人員延15万人、木材15,000石、工事費30万円余の大工事でした。

12 是川発電所（東母袋子）

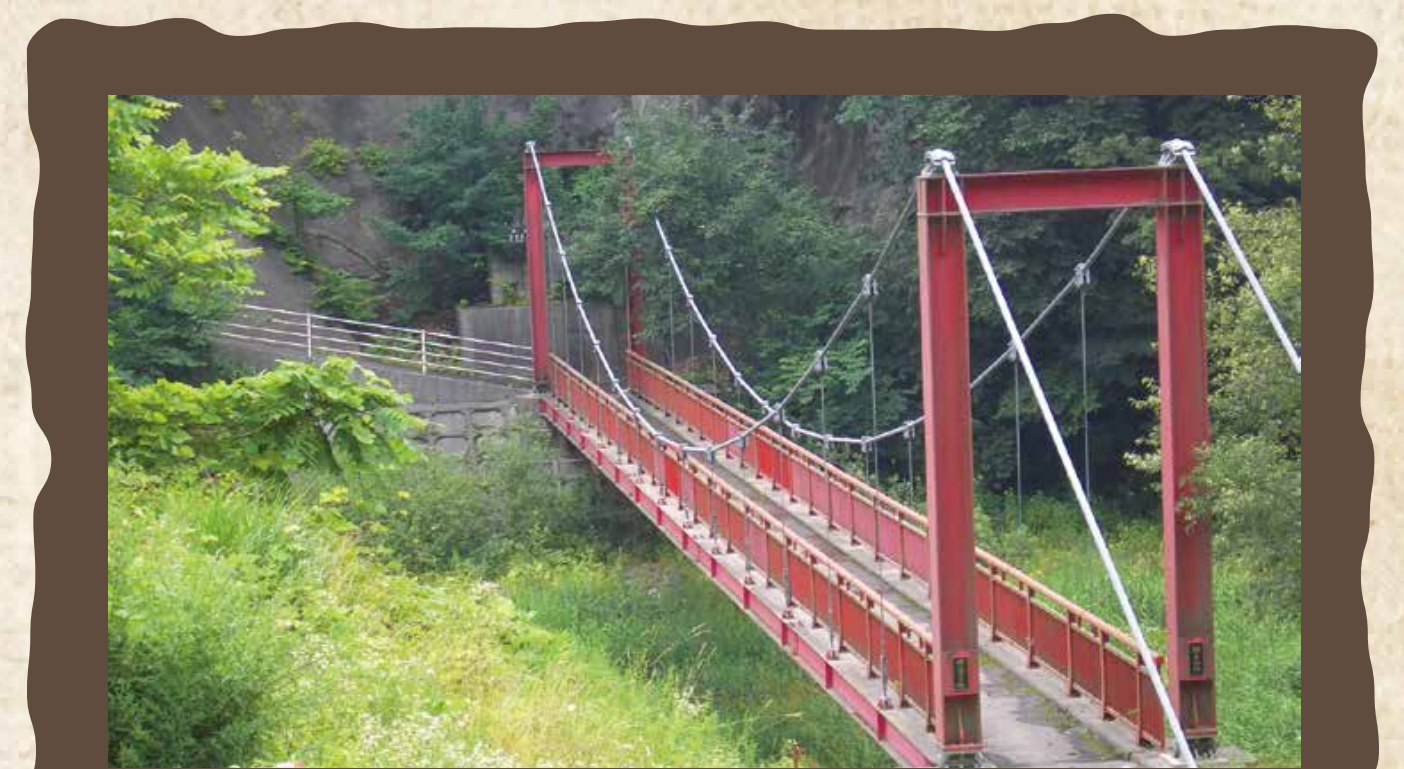
六代目橋本八右衛門は有志を募り、八戸水力電気（株）を創設しました。明治44年に是川発電所を完成させ、八戸、小中野、湊、館の1,361戸に送電を開始しました。
青森県で初めての水力発電所です。

13 砕石場

市道西母袋子線沿いに、昭和34年に砕石事業が創業され、おもに、鉄道・道路・海の埋め立て・アスファルト・コンクリート等に使用され、八戸市及び近郊の発展に必要不可欠な重要な資源となっています。

14 白幡八幡宮

元禄4年（1692年）に中村甚四郎が建立した神社であり、八幡宮は、八幡神を祭神として祀る神社で日本各地にあります。八幡神社、八幡社、八幡さまとも呼ばれ総本宮は、宇佐神社です。八幡宮の起源は大分八幡宮であります。



15 母袋子橋

西母袋子、東母袋子の両地区をつなぐ新井田川に架かるつり橋。長さ50m、幅2.5mの人道橋です。初代のつり橋は、昭和19年に是川（母袋子）発電所の八木橋氏によって架けられましたが、経年劣化が進み、平成7年に架け替えられました。このつり橋は、農作業や通学などに大きな役割を果たしてきました。

16 新山神社

当神社の由来は、明らかではありませんが約650年位前に勧請造営されたのではないかという説があります。当神社の御祭神は伊邪那岐命、伊邪那美命、大山祇神であります。
境内には推定樹齢200年の樅の木が生えています。

17 楢館八幡宮

館は新井田川右岸の河岸に接し、河原より約30m高い台地の西側に突き出た個所に築かれ、蝦夷館の改造で、戦国の頃、根城南部氏の家臣（楢館氏）が居たといわれています。館は16世紀中頃以降と考えられ、16世紀末から17世紀初頭には廃絶したと思われます。現在は、西側に八幡神社が祀られています。

18 地獄沢磨崖仏

西母袋子の新井田川の畔（吊り橋から200mのところ）にあります。水害などからの破損を避け、平成12年（2000年）に現在地に安置しました。仏像の由来は明らかではありませんが1730年以前に津要玄梁和尚（階上町應物寺）が彫刻されたものと思われます。（彫刻物は不動明王・地蔵菩薩・観音菩薩）

19 風張館八幡宮

館の由来は明らかではありませんが、戦国時代に根城南部氏の家臣水越弥三郎、是川宇右衛門が居たと伝えられています。本館は八戸市内では根城に次ぐ曲輪数があり、二重堀を駆使した是川地域の中心的な城館と考えられます。堀の外南西側には八幡宮が祀られています。
新井田川沿いには新井田城、楢館、風張館、是川上館が知られています。

［お問い合わせ］
是川公民館　tel. 0178-96-1219

このMAPは、「元気な八戸づくり」市民奨励金を活用して作成しています。